

第15回「雪の学習」研究会報告

主催者名： 北海道教育大学・北海道雪プロジェクト・札幌市立山の手南小学校

後援者名： 北海道教育委員会 札幌市教育委員会

実施日時： 2017年1月27日（金） 13:30～16:45

実施場所： 札幌市立山の手南小学校 札幌市西区山の手1条9丁目6-1

実施目的： 『雪』は単に自然環境として存在するばかりでなく、日々の暮らしひいては文化にも多大な影響を与えており、地域の特色を活かした最適な教材であり、教育現場での活用が望まれる。本研究会では、雪の実践をどのように進めていくか、公開授業等を通じて考える。

参加者数： 65名

概要： (a) 公開授業「雪と暮らす～間口除雪から自助・共助を考える～」(4年社会)は除雪で家の前に残ってしまう雪を考える活動を通して、市民一人一人が協力して除雪することの大切さを理解し、自分たちの暮らしを守ることに繋げるものである。授業後、授業に関する検討・討論を行った。雪プロジェクトでは「こんなにすごい! 北国の大空港・新千歳空港」と「アクティブに学習する『寒い季節を快適に』(5年家庭科)プラン」を行った。また、パネルディスカッションでは雪をアクティブラーニングにどう位置付けていくかが議論された。

(b) 事後アンケートに依れば、研究会の満足度は5段階評価で4.7と好評であった。

(c) 「授業プラン集 Vol. 2」やテキスト「雪の学習トレーディングカード」、「雪の学習プレゼンテーション 2」、「雪は自然エネルギー」等を配布し、教育現場での活用を促した。

(d) HBC・TV2月1日今日ドキッ! 「“除雪” どう向き合う?」で公開授業が紹介された。また、雪の学習トレーディングカードゲームが北海道新聞1月17日朝刊(「雪 カードゲームで理解」)及び毎日新聞1月22日朝刊(「トレカで雪を学ぼう」)に掲載された。

参加者感想例：

- 雪の学習が子ども達に身近であり、主体的に学ぶ姿を見ることができ、教材選びの重要性を改めて感じました。(小学校教諭)
- “雪”を通してつながるプロジェクトの発信のすばらしさを感じました。(小学校教諭)
- 札幌市の特色である「雪」ですが、具体的にどのように実践につなげたらよいか模索中でした。今日の研究会で様々な教科で取り入れることができると学びました。(小学校教諭)
- 机間指導で場面によって指導の仕方を分けていることに気づきました。評価を行っていることには気づいていなかったため、教員になった際は自分で実践していきたいです。(大学生)
- 子ども視点の切り替え、実感を伴った学習とするという所はシンプルでありながら非常に力が必要な授業であると感じ、勉強になりました。(大学生)

(c) 「授業プラン集 Vol. 2」やテキスト「雪の学習トレーディングカード」、「雪の学習プレゼンテーション 2」、「雪は自然エネルギー」等を配布し、教育現場

での活用を促した。

- (d) HBC・TV2 月 1 日今日ドキッ! 「“除雪” どう向き合う?」で公開授業が紹介された。また、雪の学習トレーディングカードゲームが北海道新聞 1 月 17 日朝刊（「雪 カードゲームで理解」）及び毎日新聞 1 月 22 日朝刊（「トレカで雪を学ぼう」）に掲載された。